

平成18年度 第17回関東高等学校バスケットボール新人大会

平成19年 2月 11日 (日) 会場 ひたちなか市総合運動公園総合体育館

【男子決勝戦】 第2日目 Mコート 第4試合

チームA 東和大学昌平 埼玉	83	19 1Q 27 23 2Q 20 20 3Q 27 21 4Q 26 OT	100	チームB 船橋市立船橋 千葉
------------------------------------	-----------	--	------------	------------------------------------

東和大学昌平

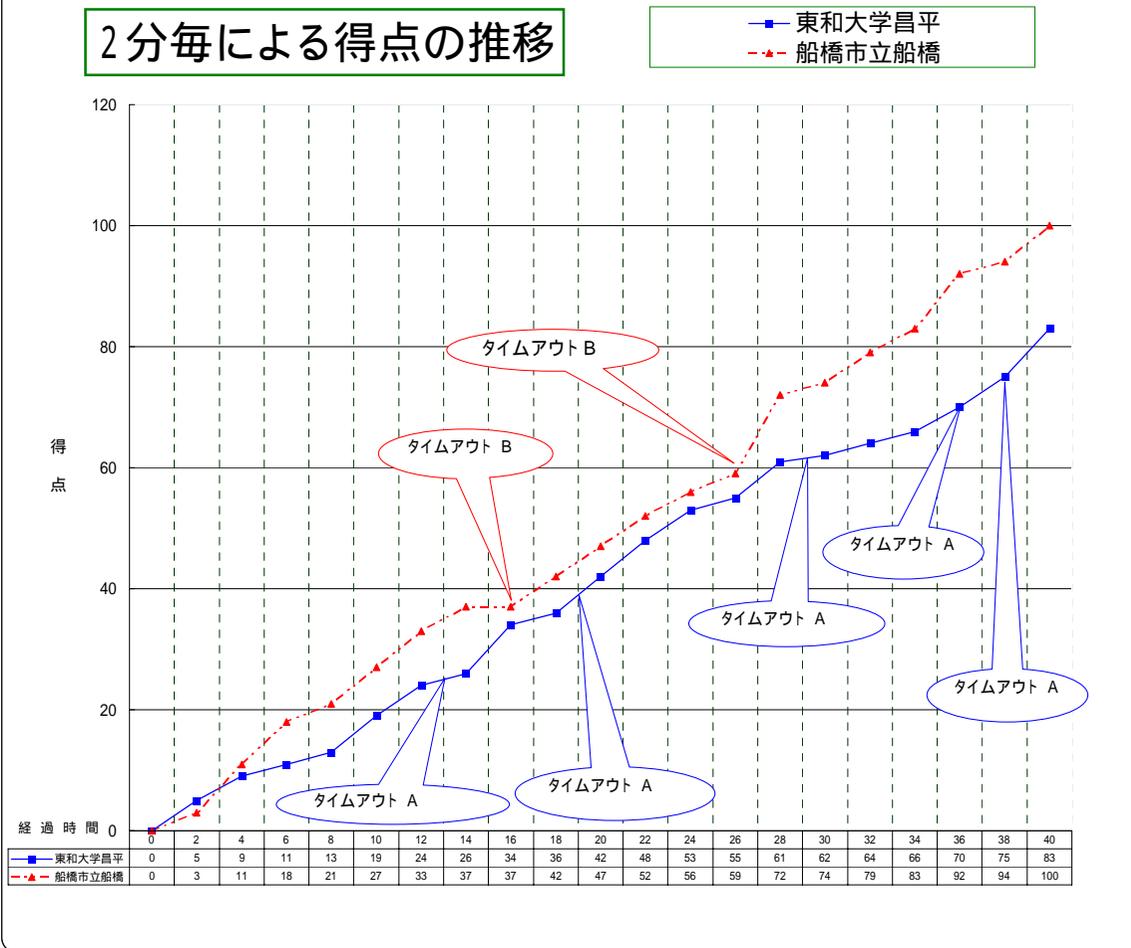
番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロッグショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	渡辺 拓実	5	1	2			2	2	1	2	2	3	2	5		40
5	藤本 和也			2					1							13
6	清原 和裕															DNP
7	馬場 健司	26			12	19	2	2	1	5	6	5	1	5		40
8	根木 大明	25	2	4	9	17	1	2	3		5	3	2	1		40
9	桜田 亨	5	1	3	1	1			3				1	1		19
10	北 直哉	9	1	4	3	8			5	1	1	1	1	1		23
11	原 秀徳	13	2	3	1	1	5	6	2	1	1	1				25
12	手嶋 敏喜															DNP
13	谷口 翔大															DNP
14	金久保 和宏															DNP
15	瀬田 正登															DNP
16	田中 優															DNP
17	相場 祐希															DNP
18	小居 秀貴															DNP
コーチ	畔川 秀雄															
		83	7	18	26	46	10	12	16	7	15	13	8	13	1	200
		確率	38.9%		56.5%		83.3%			計	22					

船橋市立船橋

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロッグショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	神 佳希	33	2	5	11	21	5	6	3	1	6	1	2	7	1	40
5	岩井 俊憲	2			1	1			3			1		2		23
6	三富 修平	4			1	3	2	6		3				1		10
7	遠藤 祐亮	10		2	4	6	2	4	3	1	6	5	1	7		36
8	星野 拓海	29	7	15	4	8			3		2	1				40
9	小出 翼	19	5	9	2	5			3	3	1	2		1	1	38
10	西 信之	3			1	3	1	1	1	1						13
11	和田 保彦															DNP
12	河合 智平															DNP
13	常世田 政明															DNP
14	實川 一輝															DNP
15	會田 一步															DNP
16	野口 将志															DNP
17	渡部 大樹															DNP
18	鍵富 豊															DNP
コーチ	廣田 誠															
		100	14	31	24	47	10	17	16	9	15	10	3	18	2	200
		確率	45.2%		51.1%		58.8%			計	24					

スターティングメンバー
出場選手

2分毎による得点の推移



戦評

決勝戦、千葉代表・市立船橋と埼玉代表・東和大昌平との一戦。ここまで圧倒的なオフェンス力で勝ち上がってきた市立船橋と組織的なチーム力で勝ち上がってきた昌平、両者マンツーマンディフェンスでスタートする。市立船橋は#4神の卓越した個人技で得点。一方、昌平はモーションオフェンスで対抗し、#7馬場らの得点で加点する。しかし、オフェンス力で上回る市立船橋は#6三富、#8星野、#9小出の得点も絡み、27-19と昌平を突き放して第2Pへ。
第2Pに入り、追い上げたい昌平は、展開を早くし、#10北の連続3pなどでなんとか巻き返しを図る。一方、市立船橋は#4神の連続得点で突き放そうとするが、昌平は第2P終了間際に#8根木の活躍で47-42と5点差まで詰め寄り、後半へ望みをつなぐ。
後半に入り流れをつかんだのは昌平。ゾーンプレスから2-1-2のゾーンが機能し一気に得点。開始3分、54-53と1点差まで詰め寄せられた市立船橋はたまたまずタイムアウト。ゲームはもつれるだろうと思われた。しかし、ここで市立船橋の3pが炸裂。#8星野がこの試合4本目の3pを沈めると#9小出もこの試合4本目の3pを難なく決めて昌平をふたたび引き離す。第3P74-62で終了。
第4Pに入っても、市立船橋の勢いは止まらない。#4神の個人技を中心に#8星野、#9小出の3pが炸裂し、勝負を決める。大会を通して相手チームを圧倒してきたオフェンス力が決勝でも衰えを見せず、100-83で市立船橋が2年ぶり4回目の優勝を手にした。

主審	安富 朗(指名)	副審	稲葉 威(本部)	記入者	川崎 秀典
----	----------	----	----------	-----	-------